

「学校の新しい生活様式の中での学力向上に向けた取組」

加須市教育委員会

加須市教育委員会の取組

(1) 加須まなびPLUS

① 学習支援動画

目的：臨時休業中の児童・生徒の学習の補完

内容：昨年度の授業の未指導部分を中心とした学習支援動画の配信

市内の小・中学校の教員が工夫を凝らし、児童・生徒に分かりやすい動画になっている。



② 学校の新しい生活様式の動画

目的：子供たちに向けた新しい生活様式の周知

内容：市内の学校を舞台に、教員が場面ごとに演じながら、新しい生活様式についてのポイントを示した。低学年の児童にもわかりやすく、また自ら行動を考えるような構成になっている。



(2) Zoom を活用した教員研修

目的：三密を回避した効果的な研修の実施

内容：(例)

- ・各中学校進路指導主事に向けた令和3年度公立高等学校入学者選抜に係る説明会
- ・加須市教育研究会養護教員研究部主任研究協議会の研修
- ・伝統音楽研修会の受講



(3) 校務支援システムを活用した資料の提供

①教師版「ぐんぐん加須」ver.2

目的：授業の進め方及び優れた指導方法の共有

内容：授業、学級経営等のポイント、実際に学力向上に効果のあった取組を簡潔に示したリーフレットの配布

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導のポイント	
<p>学習活動</p> <p>①学習課題をつかむ。</p> <p>黒板に大きく提示</p> <p>②学習の見通しをもつ。</p> <p>「授業におけるゴール」までの進路を明確させる</p>	<p>指導のポイント</p> <p>・子供の「問い」を引き出し、「何を学習するか」「何ができればよいか」を明確にする。</p> <p>・課題解決に向け、全ての子供が「どんな解決方法があるのか」「どのように学習を進めればよいのか」を考えられるようにする。</p>
<p>③自力解決を図る、又は個人で活動を進める。</p> <p>指示は「具体的」と「シンプル」</p> <p>子供の発言を認め、促める</p>	<p>・子供のレディネスを踏まえ、個に即した指導(机間指導)を積極的に実施する。</p> <p>・支援が必要な子供には、解決又は活動の見通しがもてるよう、ヒントカードを伝えるなどして、丁寧に指導する。</p> <p>・子供の思考が深まるよう、教具などを活用したり、新たな問いを投げかけたり、子供の意見に対し切り返したるなどして指導する。</p>
<p>④当日は長時間、近距離で対面形式となる活動は控えよう。</p> <p>必要に応じてペア、グループでの活動を行う。</p> <p>話し合うことが目的ではない</p> <p>⑤全体で共有する。</p>	<p>・子供が考えを述べ、認められるよう、必要に応じて他の活動の進捗状況を教師が全体に広めたり、ペアやグループでの考えを共有し合う場面を設けたりする。</p> <p>・子供の多様な考え方の理解を深められるよう解決方法や個人の活動状況を全体で共有する。</p>
<p>⑥まとめ。</p> <p>子供の思考の仕れが見える板書</p> <p>⑦学習を振り返り、次につなげる。</p> <p>日単生並のどこで生かせるか</p> <p>授業内容と家庭学習を関連付ける</p>	<p>・子供に書かせたり、子供の声を生かしたりして学習のまとめを行う。</p> <p>・通用記号等を通して、本時の学習内容の定着を図る。</p> <p>・全ての子供が「何を学習したのか」、「どんなことができたようになったのか」、「次の学習ではどんなことをしてみたい」などの振り返りができるようにする。</p>

さらに、みんながわかりやすい授業をつくるために、こんなことを試してみてくださいませう！

ユニバーサルデザインの視点に立った授業チェックポイント	内容	具体例
1	教室環境は整理整頓されている。	・特定の整理整頓。 ・見ただけで分かる合理的な物の配置。
2	手順や作業工程、ルールは理直されている。	・声の大きさ、発表の仕方、絵をかく姿勢などの提示。 ・授業の始まりと終わりのあいさつの節制。 ・目録、課題の手段の提示。
3	一週間や一日の予定を見やすく表示している。	・日表、週予定、月予定の工夫。
4	何をどのようにやるのか、学習の流れを示している。	・授業のめあてや流れを黒板に提示。 ・今、授業のどの段階で、何が行われているのかを示す。 ・いつまで、何をやるのかを示す(タイムアの活用)。
5	文字の大きさや、チョークの色など児童生徒にとって見やすさという視点に立って板書をしている。	・チョークの色分け(基本は白と黄色、場合によって強弱線や黒)、フラッシュカードの活用。
6	学習が目指していることを確認してから話をしている。	・話を聞く場面と作業する場面を明確に分ける。 ・机間指導中に教室の後ろから全体に指示を出さない。
7	「きちんと」「ちゃんと」など曖昧な指示でなく、具体的に分かりやすい指示を出している。	・短く、簡潔に(1文1動作)。 ・具体的、肯定的に、次の手立てで分かる言葉がけ。 ×「～するぞ!」→どうすればいいかわからない。 ○「～するといふ!」→することが分かる。
8	児童生徒のつまづきの原因を知ろうとしている。	・個人差への配慮。 ・日頃から多様な価値観を児童生徒に伝える。

学校経営と学力向上には大きな相関関係がある! 最終の学校経営を振り返ってきましょう!

学級経営チェックポイント	
1	1年生を通じて、「どういう学級にしたい」という思いをもって取り組んでいる。
2	3A(安心、安全、豊穡)のある学級経営を心がけている。
3	3ない(逃げない、見逃さない、見捨てない)の気持で児童が子供に聞いている。
4	学級の課題について、まずは自分自身の取り組み方を振り返るようにしている。
5	子供の側になって、物事を考えている。
6	1日1回は学級の子供たち全員に声をかけている。
7	横断的な取組も進めつつ、公正・公平な一貫した態度や行動をとるようにしている。
8	結果より、過程(努力したこと)を具体的に評価するようにしている。
9	子供の自尊心に配慮した叱り方をしている。
10	子供が活躍できる場や認められる場を、授業や学級経営に取り入れている。
11	机の並びやロッカーが整理整頓されている。
12	教壇にゴミや落書きがない。
13	掲示物の乱れがなく、定期的に更新されている。
14	子供もつめた、学習しやすい座席配置やグループ作りをしている。
15	勇気を育てるよう指導している。
16	「分かちまかせん」と伝えることの大切さや「間違えも大丈夫」ということを察している。
17	「当分や、委員会などの仕事を最後までやり遂げるよう指導している。
18	「学校の新しい生活様式」について指導している。
19	新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識を伝えている。

保護者との信頼関係づくりチェックポイント	
1	保護者へ会った時は、こちらからすぐにおあいさつをしている。
2	子供が「失礼な言葉」「汚れた服」「落し物」が原因になった時はその日のうちにすぐご連絡している。
3	何かあってからではなく、何かおこすときは先に情報を提供している。
4	学級への活動について、「いつ」「何を」「何のために」「どのように」取り組んでいるのかを伝えている。
5	保護者会や学級通信をとおして、保護者が見られることのできる古い旧来の学級や子供たちの成長の様子を伝えている。

保護者とのいきいきがあった時は?

- 保護者の意見をきく止める。
- 学校の行った対応を説明する。
- いざこざの原因を共通理解する。
- 学校と家庭が連携して対応していくことを確認する。

学校に対して不信感を抱いた時は、子供の力で学校や担任の不満を解消する。直接学校に問いかけをもらうようにしましょう。

②学力向上のための問題集

目的：児童生徒の学力向上

内容：加須市教育委員会が作成した

こいのぼり問題集 <小・中> (算数・数学)

ひとり学びノート <小・中> (国語、算数・数学、英語)

チャレンジシート <小・中> (国語、算数・数学、英語) 等の配信。

(4) 一人一台端末整備に係る説明会及び活用研修会の実施

目的：①学習支援ソフトについての操作方法の習得

②自校での活用に向けた伝達

内容：講師による学習支援ソフトの使い方の説明と演習

一人一台端末の整備進捗状況の説明

